

シンポジウム資料
「御岳雪洞埋没事故」

柴田 隆宏

1. 山行概要

場所：御嶽山 (アイゼン合宿)

行動記録概略：

- | | |
|-------------|--|
| 1988年11月23日 | 濁河温泉より入山、八合目付近で幕営。風雪強し。 |
| 11月24日 | 雪。三ノ池北側(例年の場所)にBC幕営。
これ以上の行動は無し。 |
| 11月25日 | 降雪強く、視界無し。天候回復待つも結局沈殿。
BCにて雪洞を掘り、防風壁等作る。
夕食時コンロ不調による生ガス噴出をきっかけに(?)
天野が体調を崩す。 |
| 11月26日 | 25日夜からラッセルが続くが、テントが殆ど潰れた
状態になり、雪洞に移動。
夜が明けてからも風雪強く、やがて雪洞出入口が確保
出来なくなり脱出。天野が出入口で動けなくなり雪に埋没。
五ノ池小屋へ撤退。 |
| 11月27日 | 時々雪。濁河温泉に下山。遭難を連絡。 |

メンバー構成：

6回生：1(柴田)、4回生：2、3回生：3 2(L.天野、SL。尚、もう一名は体調不良で
入山せずに戻る。)、3回生：2、1回生：4

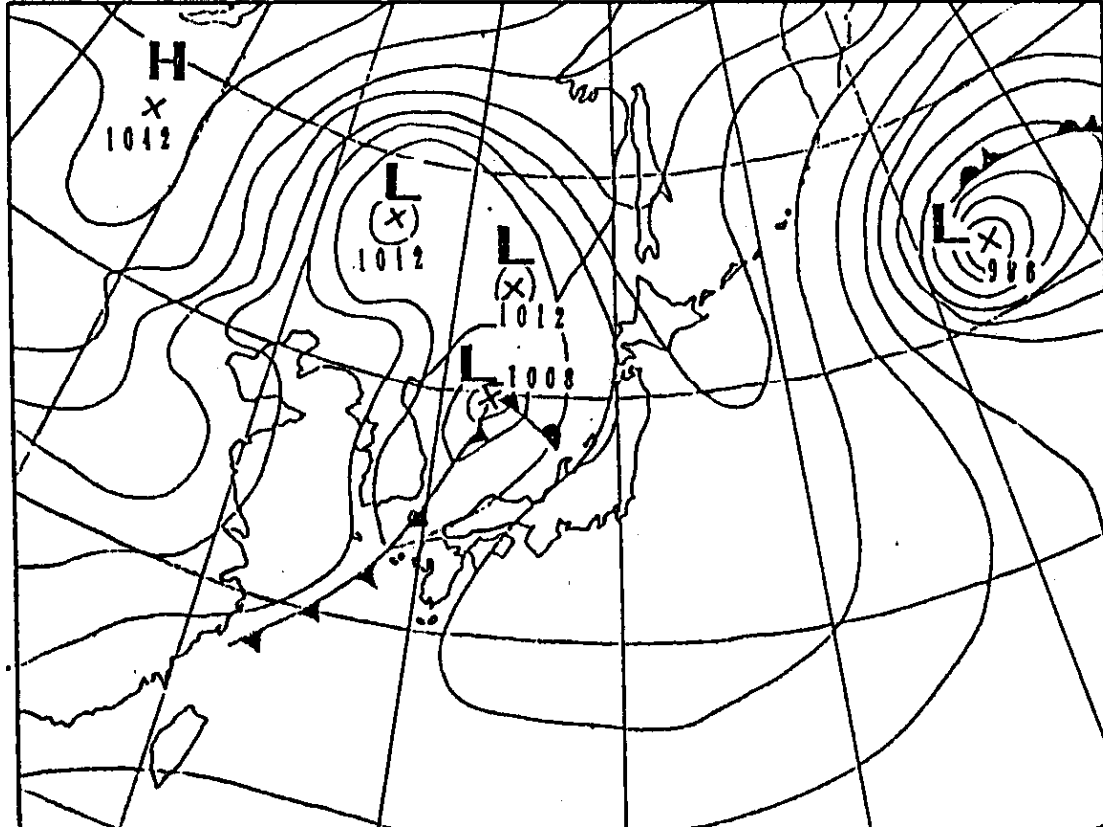
2. 事故概要：場所



三ノ池北側
(アイゼン合宿時、
例年の設営場所)

3-1. 天気図：11月23日09時

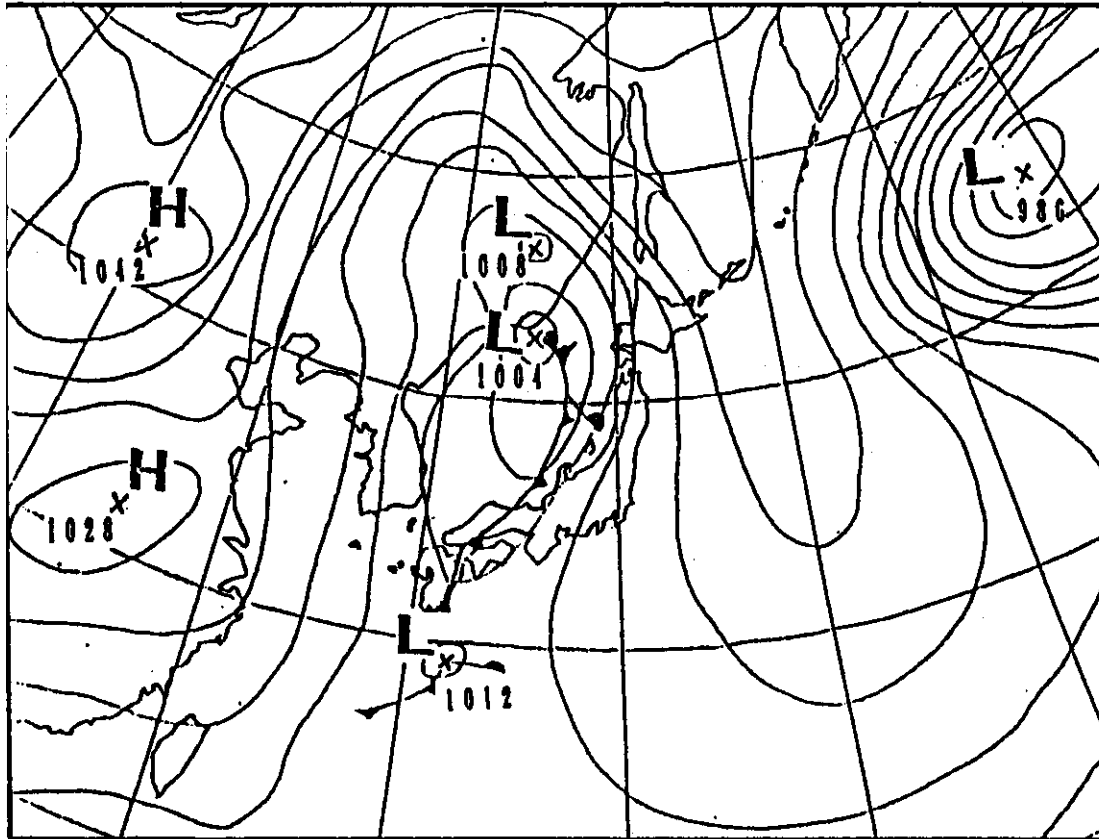
23日 9時 地上天気図



入山
11:00 濁河出発。

3-2. 天気図：11月23日21時

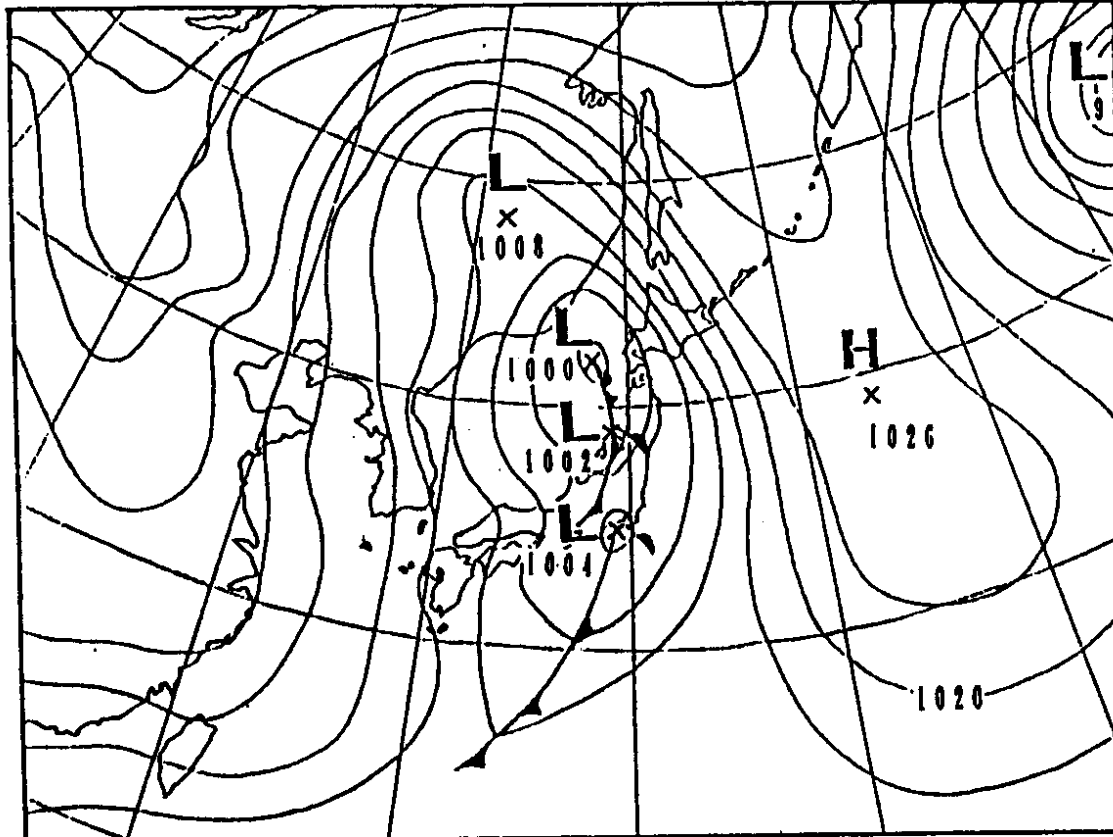
23日21時 地上天気図



飛騨側八合目付近
(BC予定地まで入れず)
16:45 幕営。

3-3. 天気図：11月24日09時

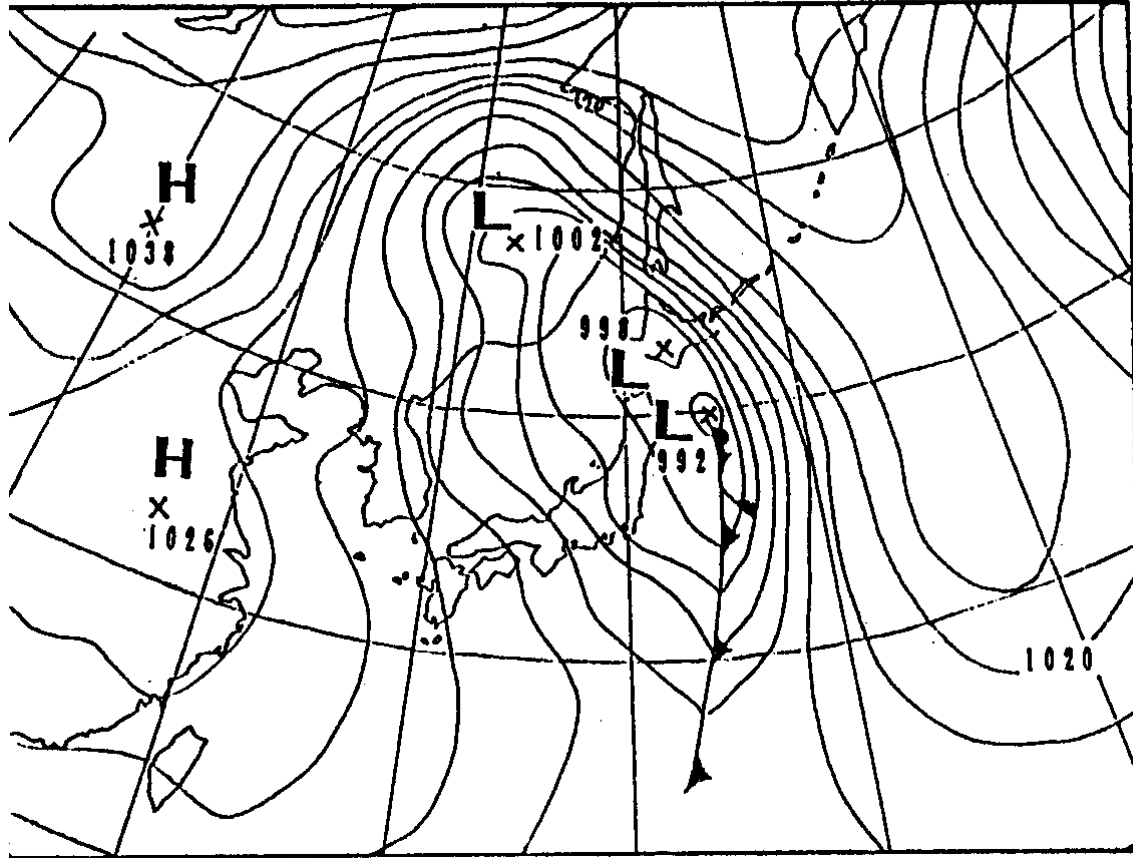
24日 9時 地上天気図



前日の幕営地出発
09:15 八合目出発。
(6時起床も上部天候
の様子見)
12:10 三ノ池到着。
BC設営。

3-4. 天気図：11月24日21時

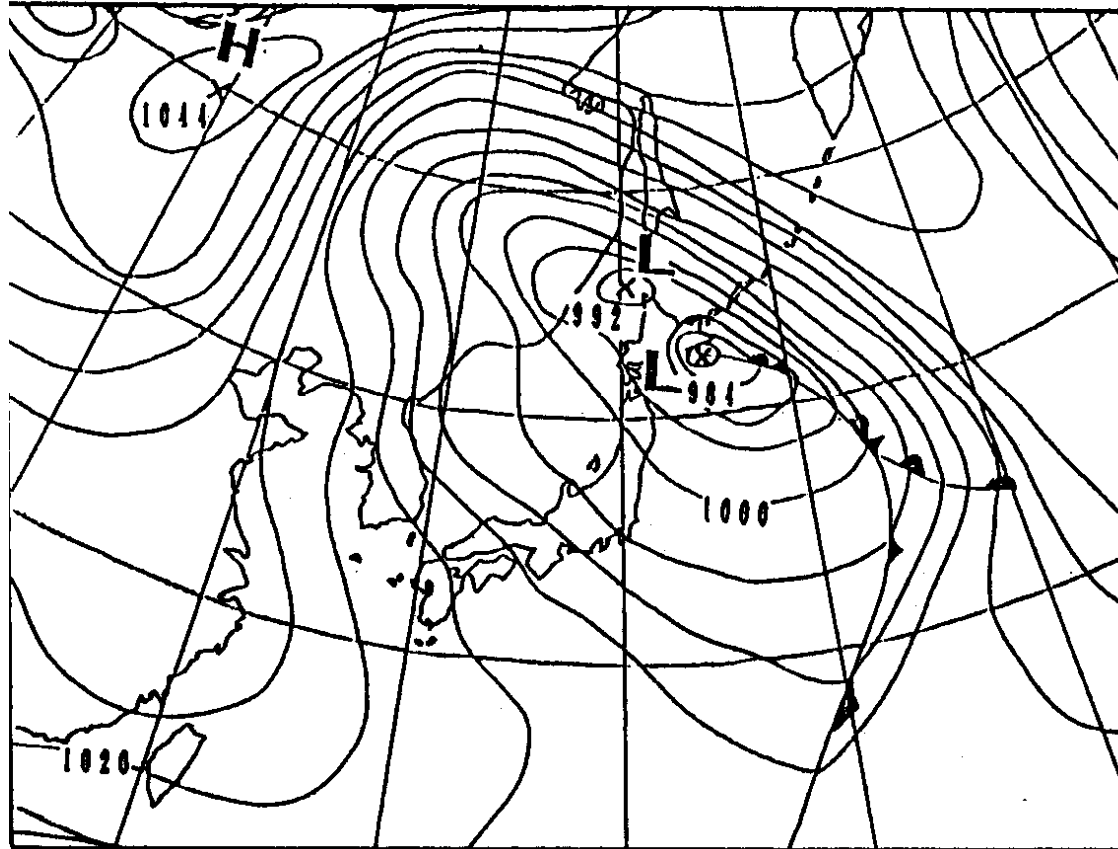
地上天気図 11月24日21時



三ノ池BC
ラッセルは1度。

3-5. 天気図：11月25日09時

25日 9時 地上天気図

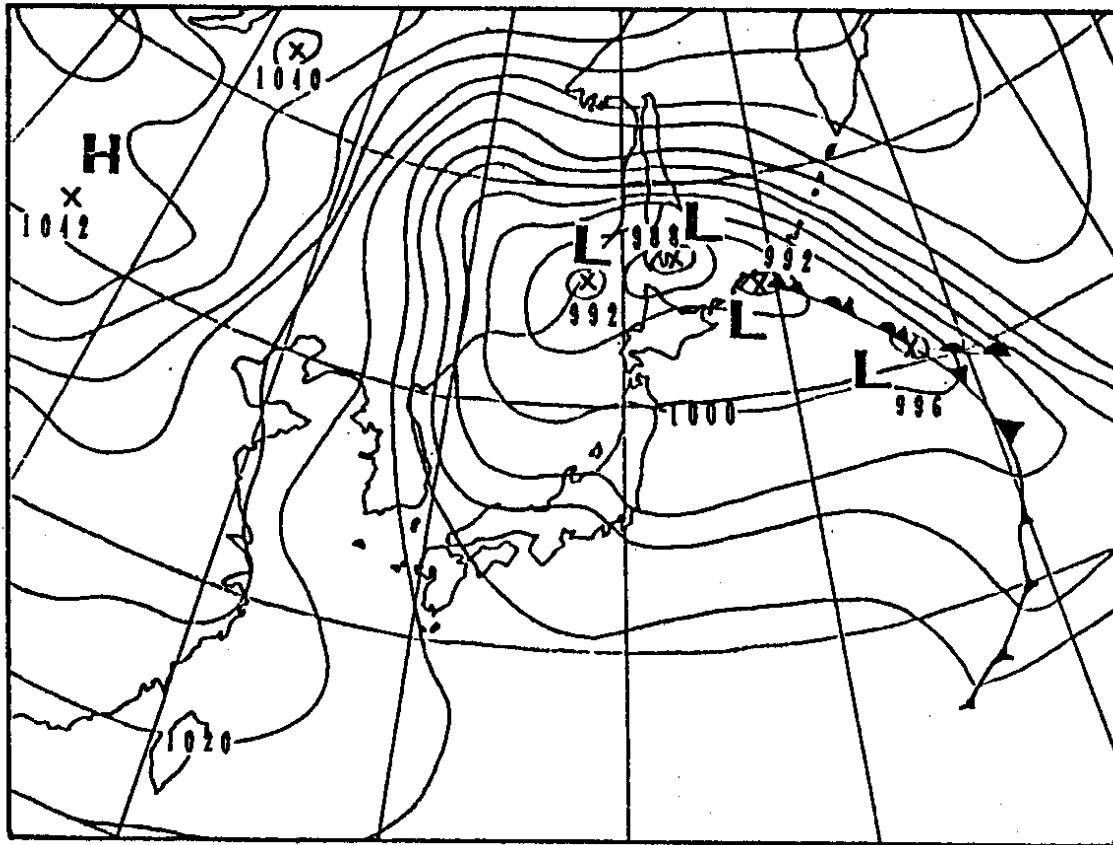


BC沈殿

風雪共に強し。
雪洞を練習で掘る。

3-6. 天気図：11月25日21時

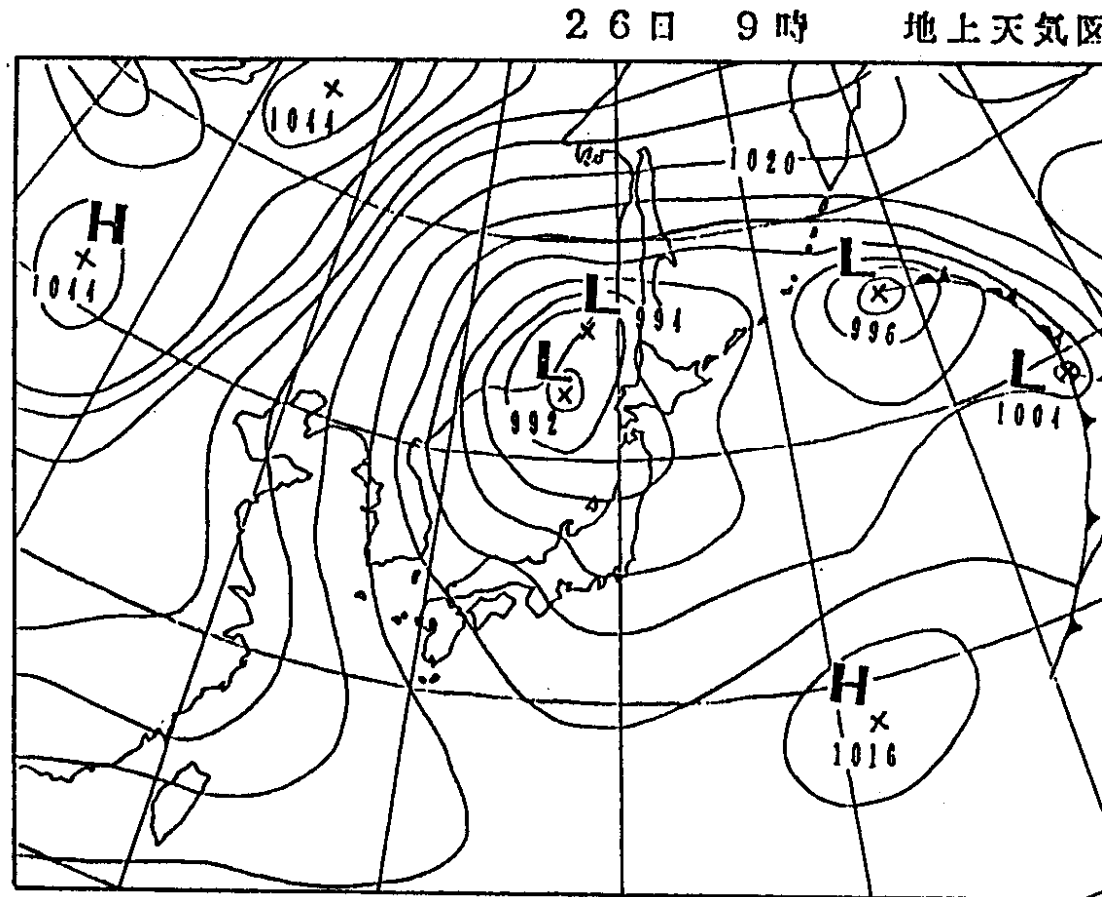
25日21時 地上天気図



BC夜

風雪強し。
夜間ラッセルを繰り返すが、次々テントが潰れる。
26日1:30 雪洞に移動。

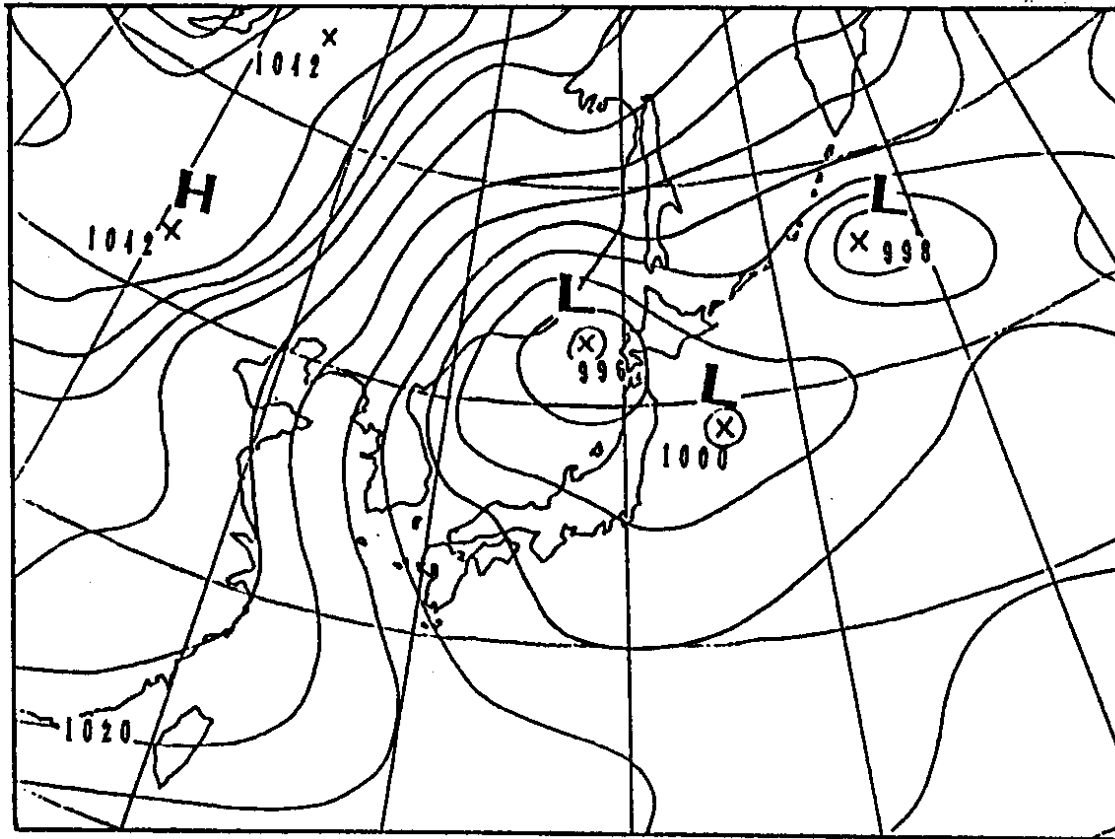
3-7. 天気図：11月26日09時



- 雪洞で天候回復を待つ
風雪更に強し。
- 06:30 天野以外でテント
掘り出しを行うが、
強風雪で3時間後
断念。
- 09:30 SL大滝と野辺が
三ノ池小屋、五ノ
池小屋偵察に
出発。
- 11:00 雪洞出入口の
確保が困難に
なり脱出。
天野が入り口で
動けなくなる。
- 11:45 天野埋没。救助
を断念。
- 12:30 五ノ池小屋到着。
大滝、野辺と合流

3-8. 天気図：11月26日21時

26日21時 地上天気図



五ノ池小屋
(翌日下山)

4. 事故概要：状況

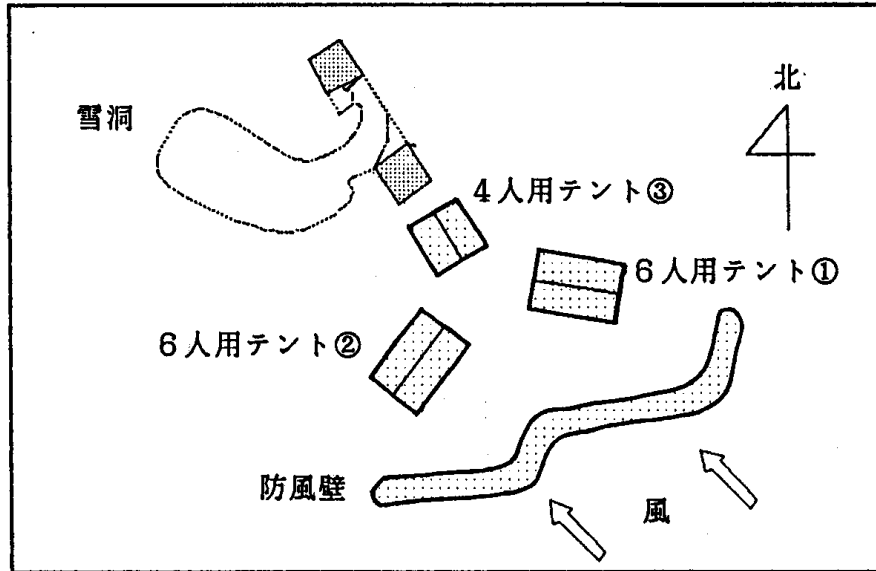
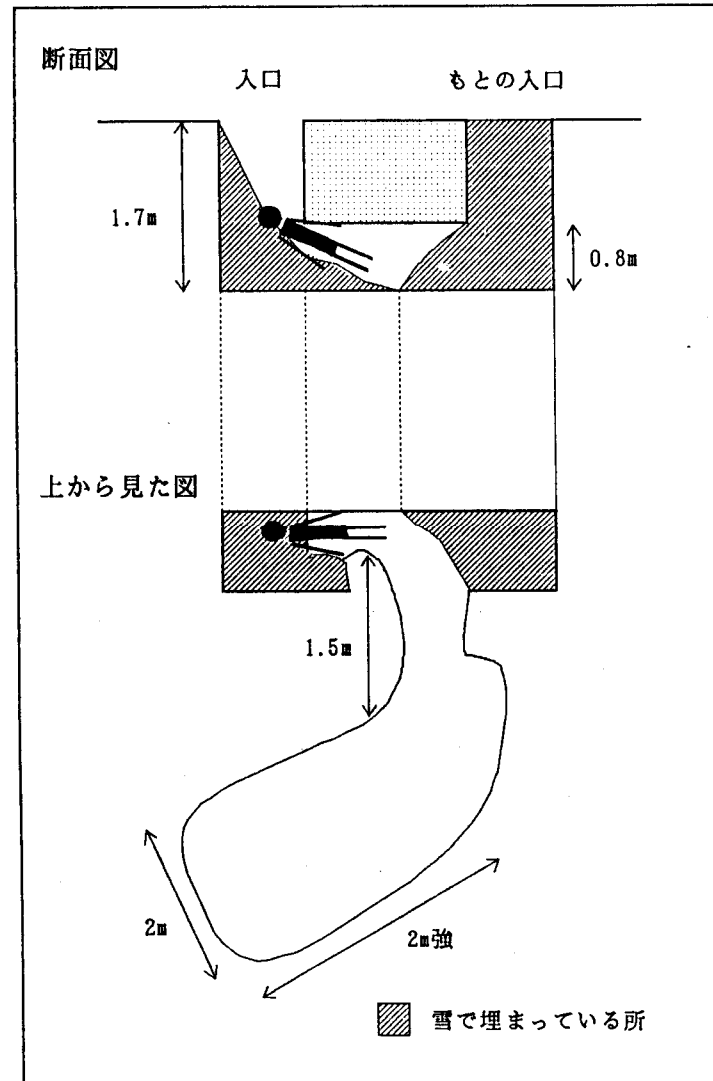


図. 3 雪洞略図



5. 事故発生までのメンバー構成変化

学年別 人数	入山前	入山後	事故 発生時
6回生	1	1	1
4回生	2	2	2
3回生(LS)	3	2	1
2回生	2	2	1
1回生	4	4	4

現
LS、
LS
経験者
↑

残っている3回生はLの天野だが、
体調不良で寝込んでおり、事故の
犠牲者でも有るので、事故発生時、
3回生は実質0人。

入山の車中で1名風邪で体調悪化、入山を断念。

3回生(SL) 1名と2回生1名が小屋偵察の為別行動中。

6. 重大な問題点

反省点は非常に多いが……、

1. リーダーシップは機能していたか
2. 雪洞への避難
3. 雪洞からの脱出、事故発生時の連携

7. 反省と問い

柴田が考えてきた事について